



 医師

あなたのPSAは、いくつですか？

泌尿器科副部長 伊藤 裕一

PSA(Prostate Specific Antigen: プロステイト スペシフィック アンティゲン)をご存知ですか？

最近よく知られるようになった前立腺癌の血液検査のことです。アメリカでは、あなたのPSAはいくつ、というのが日常会話で普通に聞かれるくらい普及していますが、日本ではまだまだで、やっと50歳以上の男性の定期検診に取り入れる病院が出てきたところです。

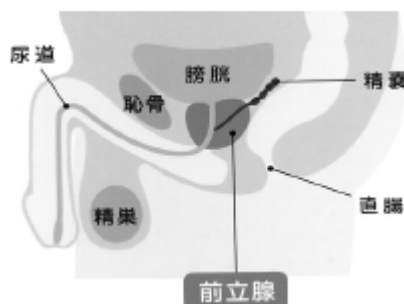
今まで前立腺癌は日本では少なく、75歳以上のお年寄りにたまたま見つかる病気で、症状が現われにくいので、発見されたときにはすでに骨に転移していることが多く、手術で取れるものはあまりなかったようです。腰痛で長く整形外科に通っていたのが、実は前立腺癌だったというようなこともありました。

現在の日本では前立腺癌が急増して、この半世紀で20倍近く増加していますが、初期はとても進行が遅く、ホルモン剤を中心とした薬が効きやすいし、進行が前立腺内にとどまっていれば手術で完全に除去、或いは、放射線治療で完全に治るといった特徴があります。

PSAの値がまだそんなに高くないうちに発見することが出来れば、前立腺癌は完全に治すことが出来ます。測定は簡単な血液検査ですので、一度測ってみてはいかがでしょうか

PSAの値のめやす

4以下	正常	定期的にPSA検査をしましょう
4~10	グレーゾーン	20~30%に癌が見つかります
10以上	癌が疑われます	高くなるほど癌の可能性が高まります



「フィリア・レター」は、中部労災病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者様の建設的な意見を反映する広場として発行しています。